

うちこ

vol.15
平成27年11月発行

議会だより

もくじ

27年度第2回定例会

◎平成27年度補正予算 ○○○○○○ 2

◎議決結果 ○○○○○○ ○○○○○○ 3

◎一般質問 ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ 4~12

◎研修報告 ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○ 13

内子町議会 9月定例会

公共土木施設災害復旧工事に 6,440万円を予算議決

平成27年9月定例会は9月7日に召集され、18日までの12日間の会期で開催しました。

町長提出の報告事項6件、決算認定9件、条例改正4件、補正予算5件、その他3件、合計27件が提出され委員会、本会議で審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

概要はつぎのとおりです。

◆一般会計補正予算(第2号)

【民生費】

- ・ 社会福祉協議会電算システム導入補助金 430万円

【衛生費】

- ・ 小規模飲料水供給施設整備補助金 100万円

【農林水産業費】

- ・ 農林道等維持管理事業補助金 420万円

【商工費】

- ・ 愛媛サイクリングの日イベント補助金 50万円

【土木費】

- ・ かけ崩れ防災事業費(下今岡地区) 900万円

- ・ 内子運動公園改修工事実施設計委託費 400万円

【教育費】

- ・ 現代狂言公演補助金 100万円

- ・ 国体用特設ライフル射撃場建設工事費 300万円

【災害復旧費】

- ・ 農業施設災害復旧工事費(切岩堰頭首工ほか) 2050万円

- ・ 公共土木施設災害復旧工事費(町道今岡線ほか) 6440万円

【諸支出金】

- ・ 「エコロジータウン内子」ふるさと応援基金積立金 2800万円

◆条例の一部改正

【内子町個人情報保護条例の一部改正について】

マイナンバー制度の施行に伴い、より強固なものにするため、条例の一部を改正するもの。

【内子町手数料徴収条例の一部改正について】

マイナンバー制度の個人番号カード等、再発行に伴う手数料の、条例の一部を改正するもの。

【内子町手数料徴収条例の一部改正について】

「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」の名称が、「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に名称が変更となったため、条例の一部を改正するもの。

【内子町保育所条例の一部改正について】

平成28年4月1日から大瀬保育園の運営を内子町社会福祉協議会へ移管するにあたり、公立保育園から私立保育園となるため、条例の一部を改正するもの。

27年第80回9月議会提出議案の結果

提出者	議 案 名		審議結果
委員会	発議 5	内子町議会会議規則の一部改正について	原案可決
町長	報告 5	株式会社内子フレッシュパークからりの経営状況を説明する書類の提出について	報告のとおり受理
町長	報告 6	小田まちづくり株式会社の経営状況を説明する書類の提出について	報告のとおり受理
町長	報告 7	公益財団法人内子国際交流協会の経営状況を説明する書類の提出について	報告のとおり受理
町長	報告 8	健全化判断比率の報告について	報告のとおり受理
町長	報告 9	資金不足比率の報告について	報告のとおり受理
町長	報告 10	内子町教育委員会の点検・評価の書類の提出について	報告のとおり受理
町長	議認 4	平成 26 年度内子町一般会計歳入歳出決算の認定について	報告のとおり認定
町長	議認 5	平成 26 年度小田高校寄宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について	報告のとおり認定
町長	議認 6	平成 26 年度内子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	報告のとおり認定
町長	議認 7	平成 26 年度内子町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	報告のとおり認定
町長	議認 8	平成 26 年度内子町介護保険サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	報告のとおり認定
町長	議認 9	平成 26 年度内子町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	報告のとおり認定
町長	議認 10	平成 26 年度内子町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	報告のとおり認定
町長	議認 11	平成 26 年度内子町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出の認定について	報告のとおり認定
町長	議認 12	平成 26 年度内子町水道事業会計決算の認定について	報告のとおり認定
町長	議案 73	平成 26 年度内子町水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
町長	議案 74	内子町個人情報保護条例の一部改正について	賛成多数で原案可決
町長	議案 75	内子町手数料徴収条例の一部改正について	賛成多数で原案可決
町長	議案 76	内子町手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
町長	議案 77	内子町保育所条例の一部改正について	賛成多数で原案可決
町長	議案 78	大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合の協同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決
町長	議案 79	大洲・喜多衛生事務組合規約の変更について	原案可決
町長	議案 80	平成 27 年度内子町一般会計補正予算（第 2 号）について	原案可決
町長	議案 81	内子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決
町長	議案 82	平成 27 年度内子町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決
町長	議案 83	平成 27 年度内子町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決
町長	議案 84	平成 27 年度内子町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）について	原案可決
	受理 4	伊方原発の再稼働を認めないよう愛媛県知事に意見書送付を求める請願	賛成少数で不採択
	受理 5	「公開討論会」開催について愛媛県知事に「意見書」送付を求める請願	賛成少数で不採択

未来に繋げる内子座へ

中田 厚寛議員



【成人式を内子座で！】

問 内子座一〇〇周年に成人式をぜひ内子座で開催し、町並みをパレードしては。

教育委員長

すでに日程や場所など問い合わせが来ている。創建一〇〇周年を迎える内子座での成人式は話題性のある提案と思う。しかし、客席の通路は狭く、振り袖を着た方や、障がいを持たれている方への対応などもある。また、暖房の効きも悪く時期的に不向きであり、総合的な視点から判断して来年も共生館で行いたい。

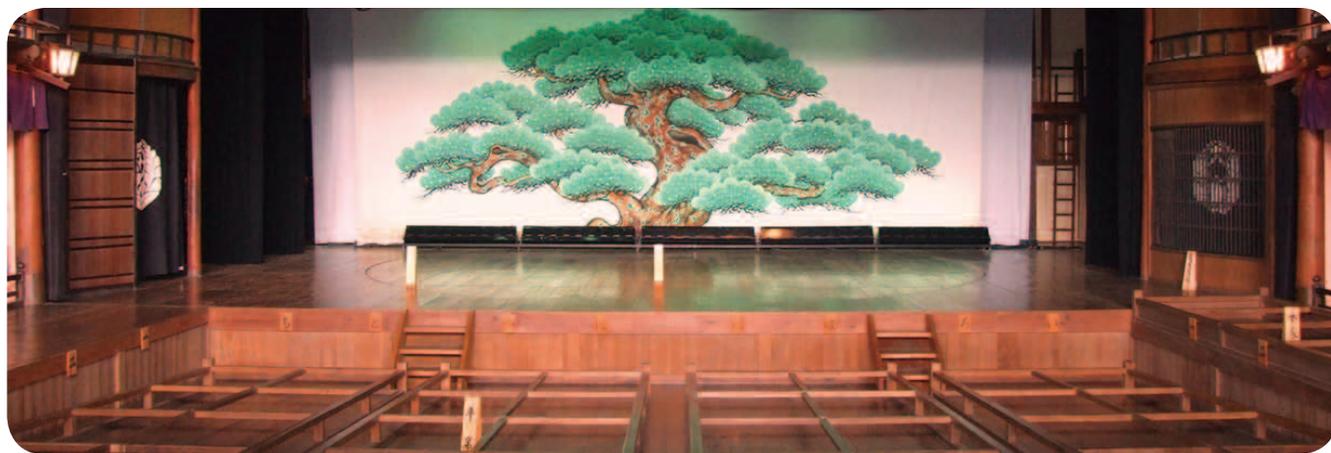
また、町並パレードについても、実施する目的や天候など諸問題もあり現行のスタイルをベースに取り組んでいく。

問 創建一〇〇周年を迎える内子座の耐震補強工事をするべきと考えるが。

町長

内子座については、耐震補強工事と大規模改修工事が必要と認識している。国の重要文化財の指定を受けており、大規模改修工事については3分の2の補助を受けられるが、億単位の費用が必要であり、工期についても長期になることが予想される。

また、財源の見通しや周辺住民の方々や地権者のご理解など課題もある。内子座調査委員会など識者のご意見を参考に近い将来判断し、提案させていただく。



【再質問・一問一答】

問 火災保険や地震保険の保険金額は。総務課長

全国自治協会建物災害保険に加入している。内子座本体の共済の責任額は、1億2547万7千円。地震に対してはこの共済では救うことができない。今後検討したい。

問 西予市では、Zー1グランプリなど町並に関する多数のイベントが計画されている。「えひめいやしの南予博2016」もあり、南予の玄関となる内子町として、観光スポットである内子座をアピールすべきである。成人式を内子座で開催することは絶対の好機と思うが、今後検討する考えはなにか再度伺う。

教育長

成人式を迎える方たちが自主的な盛り上がりができるば考えたい。

防災・減災対策の取組は

山上 芳子議員



続を推進する。

問 防災士取得者のレベルアップの研修の取り組みは、
総務課長

本年、初めての取り組みとして「内子町地域防災関係者合同研修会」を開催した。今後も受講しやすい曜日の選定など現場の意見を反映した研修、訓練など工夫しながらレベルアップに努める。

問 内子町の現在の防災会議の状況は。(男女人数・会議数・内容)
総務課長

内子町防災会議条例を定めている。委員は会長である町長と19名の委員で構成し、男性18名、女性1名である。会議は地域防災計画の検討や大幅な見直しなどの修正があると認められた場合に開催する。今年3月に修正し、この時は会議を2回開催。災害対策の変化など、被害想定に対応できるよう協議した。

問 防災会議への女性委員の登用が必要と考えるが委員の選出方法は、
総務課長

内子町防災会議条例第3条第5項第1号から第8号の定めにより規定されている。今後、災害時における女性の視点を生かした防災対策を進めるためにも、防災会議への女性委員の登用を前向きに検討する。

問 確実な情報伝達に向けた体制整備が必要。住民の安全な暮らしを守るためにも防災ラジオの導入の考えは、
総務課長

避難勧告や避難所情報の伝達については、防災行政無線による情報伝達やテレビやラジオでの広報、消防団や職員にはメールでの一斉通知など複数の伝達手段の活用により災害情報を周知することとしている。デジタル防災行政無線の運用開始により、内子町においては従前から導入している個別受信機の設置を予定しており、防災ラジオの導入は今のところ考えていない。



役場屋上設置の防災無線

【再質問・一問一答】

問 教員に対しての防災養成講座の実施を推進しては、
教育長

今、防災士が20名。毎年先生方に案内はしている。防災士の研修をする中で、出来れば一緒にやっていく。

問 レベルアップについて防災士自身の意識を高めるためにも定期的に研修を行う考えは、
総務課長

本年の合同研修会は来年度もずっと続けていきたい。今後研修の場をどんどん広げていきたい。

問 本町の防災士最新の取得者数を年代別・男女別・職種別に問う。
総務課長

本町の防災士登録者数は、91名。20代1名、30代8名、40代21名、50代40名、60代21名で男性が多数を占め、女性は3名である。サラリーマン37名、教員を含む公務員20名、無職15名、その他自営業者、農業など様々である。

問 女性や若者の防災士の増加に向けての今後の取り組みは、
総務課長

女性や若者が多く働く事業所や女性団体に、防災士の必要性を呼びかけし、地域防災力の継

ふるさと納税成果と今後を問う

才野 俊夫議員



問 内子座一〇〇年の歴史と変遷は。

町並・地域振興課長

大正4年2月、町内有志18名が発起人となり「大典記念株式会社内子座」が創設され、翌年「内子座」が落成した。昭和42年に内山商工会所有となる。昭和57年に内子町に寄付され、昭和60年に修理復元事業を行う。本年度7月、国の重要文化財に指定され現在にいたる。

問 創建一〇〇周年を記念した事業は。

町並・地域振興課長

今年、11月に「茂山狂言」、来年2月20日に記念式典、翌21日に「淡路人形座」、3月に「現代狂言」を開催。28年度は、5

月に「立川志の輔落語会」、6月は県内出身落語家の「内子座爆笑落語会」、8月「第20回文楽公演」、10月「東西狂言の競演」等を予定している。



茂山狂言クラブの子どもたち

【ふるさと納税について】

問 新しいシステムを採用してから現在、寄付件数、寄付金額に変化が出てきたか。

総務課長

本年6月に新システムを導入して2カ月間で、件数で昨年度

実績の50倍、金額で約3倍の寄付申し出を受けている。

問 お礼の品目は。

総務課長

梨、富有柿、ソーセイジセット、地酒セット、その他加工品です。今後、内子に来て頂けるお礼(宿泊券・優待券等)を検討していく。



新たに品目に加わった棚田米で作ったおにぎり

問 自主財源としての効果は。

総務課長

産業振興、交流人口の拡大に有効な手段である。自然エネルギー

ギアの推進、伝統芸能の継承、子育て支援対策等に活用したい。

【再質問・一問一答】

問 将来予定の内子座耐震工事期間中の来訪者への配慮は。

町並・地域振興課長

過去に、九州の八千代座では修理過程を見学者に開放したとの事例があり今後、検討する。

問 来年、文楽公演が20回目の節目を迎える。再来年以降の見通しは。

町長

再来年以降は、現在のところまだ白紙です。

問 ふるさと納税を通じて内子を知って頂く機会を。

政策調整班長

寄付者に希望調査を実施しており7割の方に内子の旬な情報を届けている。

問 全国に向け、具体的な使い道を発信しては。

政策調整班長

納税者の立場になり、若い職員を中心に検討を重ねたい。

プレミアム商品券と地域活性化

久保 美博議員



【職員の適正配置、人材育成について】

問 若い職員は、同じ課に2回も3回も異動させない。3年以内に異動させる考えはないか。

副町長

必要に応じて異動希望調査や管理職からの情報を参考にしており、異動は3年以内にと一律の基準で人事異動を行うことは、職員の年齢構成上、問題もある。若し職員は多くの職場を経験できる人事異動を行う。

問 職員の育成、階層別研修の充実を図っているか。

副町長

技術、能力、専門的能力の向上を図るために、各種研究機関が実施する研修へ職員を派遣し、専門的知識、技術の向上を図っている。今後、高度化する行政課題、地域課題に的確に対応し、町民の目線で行動できる職員の育成に重点を置いて職員

の能力向上、資質向上のため研修制度の充実を図っていく。

問 職員の健康管理、メンタルヘルスの支援対策の整備は。総務課長

ストレスチェック表を職員に周知し、一定数の項目に該当がある場合、町の保健師への相談や、毎月、共同開設される相談室への案内を行い、初期段階での予防に努めている。今後、職員の心身状態を良好に維持するための学習を推進するとともに、事案発生の際には、担当医師の指導を仰ぎながら、職場復帰のための環境を整備していく。

【ペットマナーの取り組みについて】

問 当町の犬の登録数、また苦情の現状について。保健福祉課長

現在、当町の犬の登録数は1565頭で、ペットの苦情は26年度で7件あり、その多くはフンの処理に関する苦情で、犬を特定できないのがほとんど。町内放送したり、「広報うちこ」にペットの飼い方のマナーにつ

いて掲載し対処している。

問 犬・猫の飼い主に行っているマナー対策及び去勢・避妊の助成金について。保健福祉課長

ペットの飼い方マナーについては、毎年数回「広報誌」に掲載し、ペットの問題は、飼い主の責任であることを周知徹底していきたいと考えている。助成金は考えていない。



東自治センターグラウンド内設置の看板

【再質問・一問一答】

問 プレミアム商品券の有効期限延長の特例措置の考えは。町並・地域振興課長

期限延長の特例措置は考えていない。

問 「プレミアム商品券」は、地域経済の活性化の起爆剤となるか。

町並・地域振興課長

愛媛県を中心に取り組むものと内子町独自で取り組む2種類が販売されており、愛媛県分の1万1700セットが7月1日に発売され7月16日に完売しており、有効期限は11月末となっている。内子町独自のプレミアム商品券も（プレミアムが同様の内容、1万円につき2000円）1万1800セットを9月1日から販売しており有効期限が12月末となっている。企業・商店等からは、消費の手ごたえを感じていると聞き一定の評価ができ、地域の消費喚起を目的とし地域経済の活性化の効果を期待している。

町長のまちづくりに対する「夢」は 下野 安彦議員



政的にも可能な範囲で支援する。

【小田川リバーサイド、堤防健康ロード整備を】

問 町内の街灯のLED化への補助事業が検討されているが、第2期内子町総合計画、小田川リバーサイド・ふれあい事業の一環として、夜間照明整備をすべきと思うがどうか。

建設デザイン課長 「内子町いかざき小田川はらっぱ活用検討委員会」を設置し、今後の計画について意見を伺い、利用ニーズ、費用面、課題等今後検討していく。

【再質問・一問一答】

問 職員の能力向上に力をいれて少数精鋭型役場を目指すとともに、行政職員のOBの能力を活かす仕組みを作ると謳われているが、どのように考えているか。

会も行っている。 問 子ども達へのふるさと教育を推進すると共に地域の伝統や文化を再評価する社会教育活動を推進するとなっているが、これ子ども達のどういった夢につながる構想になっているか。

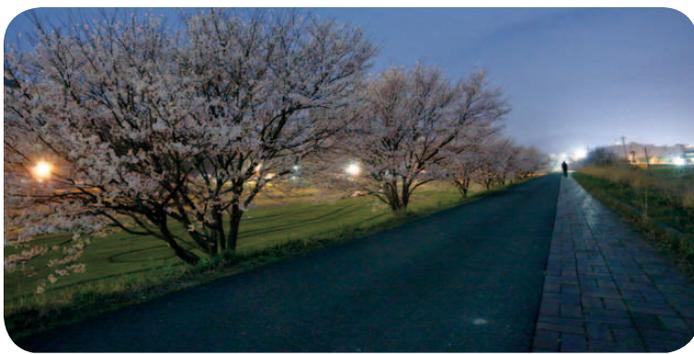
町長

内子座で内子町の伝統芸能の発表の場をもつ事、小田深山でスキーやキャンプの体験をする等、なるべく地域で地域のことを学び、何か機会があったらぜひ町のために頑張ろう、そんな思いをもってくれる若者に育ってほしい。

問 稼ぐ町を目指し、「ここに住んでよかった。」と思えるよう持続させていくには、ある程度の事業は、地域の活性化、経済効果に繋がり、それが町民や子ども達の「夢」に繋がると思うが、町長は住民の「思い」や「夢」をどのように実現されようとしているのか。

町長

まずは町民の皆さんが安全で安心して暮らせる環境を整えることであり、それが整ってこそ、町民の皆さんと2年間かけて一緒に作り上げた第2期内子町総合計画の実現が果たせるのだと考えている。地域づくり懇談会等を通じ「夢」などを聞いて、その「夢」をかなえるために、町と住民が協働する内子ならではの取り組みとともに、財



あけぼの橋下流、天神側の堤防

町長 土木を担当したOBの皆さんは技術的な分野や、地域実情がわかっている、何かあった時に助けていただけるようなサポート。資格を持った保健師にも加勢してもらええる仕組み等を考えている。

問 地域の思いや夢をかなえるために、各地域に職員を貼り付けているが、町長の考えをいつ、どのような場で、どういった形で職員教育をされているか。

町長

新採職員の時、約一時間くらい講義をする。また、月々職員



小田深山でのキャンプ体験

歴史的資料、今後の利活用は

山本 徹議員



【簡易水道事業統合化】

問 統合は計画通り完了する
のか。

建設デザイン課長

計画通り平成28年4月1日に
統合する。

問 平成21年9月定例会で質
問した、小中学校に残る歴史的
資料を、どのような方法で調査
を行い、どうまとめたのか。

教育長

書籍や展示物の活用について
は、調査したが、歴史的資料の
調査、まとめは出来ていない。
大変申し訳なく思っている。

問 今後、この資料をどのよ
うに活用するのか。

教育長

くわしくは調査していない
ので、平成28年度末までに調査
し、まとめを行い活用について
検討する。



大瀬簡易水道緩速ろ過池

問 各簡易水道組合は統合の
準備を進められているが、解決
すべき課題は残っていないか。

建設デザイン課長

人口減少による水需要の減少
傾向にあるので、一層運営の効
率化や経営の安定化に努める。

問 統合後の水道料金が値上
げになることへの住民への説明
は充分にできているか。

建設デザイン課長

統一料金（現在の水道料金）
より高い料金の組合（6組合）
は統一時に統一料金にする。統

一料金より低い料金で比較的、
料金差がない組合（2組合）は
3年後に統一料金にする。特に
開きの大きい組合（6組合）に
ついては、2段階の緩和措置を
講じながら、5年間かけて統一
料金にする様に、合意してい
る。今後の住民への周知につい
ては、各組合等への説明会、広
報うちこやホームページで周知
する。

問 先に統合が進められた
五十崎地区では、本年度から水
道料金が値上げされ、住民の皆
さんが戸惑われている状況を聞
くが、どのような対処をしてい

るのか。

建設デザイン課長

五十崎地区の値上げは、平成
24年4月1日から水道統合に伴
う水道料金の急激な負担増加を
さけるための、激変緩和措置の
3年間が経過したことに伴うも
ので、新料金は平成27年4月水
道使用分からとなります。水道
料金の改正についての問い合わせ
せは、改正後5件ありました。
改正理由などを説明してご理解
を頂いている。

【再質問・一問一答】

問 歴史的資料の調査方法と
して、現職の先生方に頼るので
はなく、教育委員会の責務とし
て、調査を行ってはどうか。

教育長

6年が経過しており申し訳な
く思っている。平成28年度末ま
では、教育委員会の責務とし
てくわしく調査する。

問 地域教育の資料、ふるさ
と教育に活用しては。

教育長

ふるさと教育に活用してい
く。

伊方原発再稼働、住民の声は

宮岡 徳男議員



問 8月20日に大洲市で開催された再稼働問題についての説明会後の町長のコメントに、町民の間からは批判的意見が出ている。あの説明会を町長はどの様に受け止められたか。

町長 国・県の説明を受けて国のエネルギー政策はこういうものなのか、3号炉の安全審査はこのような視点で行われたのか、使用済核燃料の処理問題は時間がかかる問題だ。こういったことがある程度、参加者の皆さんには理解ができたのではないかと。時間的には少し短かったという感じはあるが開催できてよかったと受け止めている。

問 原発の事業者や推進機関からだけの一方通行の説明ではなく、原発に批判的な専門家の声も聞き判断材料にすべきでは。

町長 一方通行の説明会ではなかったという捉え方をしている。批判的な専門家の意見ということであればシンポジウムとか、討論会とか別の視点でやらないとあのような場では難しい。

問 内子町独自で開催の考えは。

町長 現在のところ、開催する考えは持っていないが、そういう多様な意見があるということについては、国の方に伝えないといけない。

【国保行政について】

問 国は保険料の軽減対象となる低所得者数に応じた財政支援を拡充し、約1700億円を予算化。内子町の支援策の対象

となる世帯と被保険者数は。住民課長

2割軽減365世帯776人。5割軽減485世帯928人。7割軽減1063世帯1507人。(27年度6月時点)

問 この支援策で被保険者一人当たり、年額5000円の財政改善効果を言っているが、内子町の対応は。住民課長

1700億円の財政支援は保険基盤安定事業の保険者支援分に充てられる。本年度は見込額で2385万3千円で、前年度比1538万1千円の増である。対象が7割、5割に加え2割分が追加され被保険者対象も698人増加した。

問 低所得者の申請減免についての取り組みは。住民課長

災害等により生活が著しく困難になった場合など特別の事情の場合に限られる。県の広域化と県内の他市町の動向を見極めながら、今後さらに検討させていただきたい。

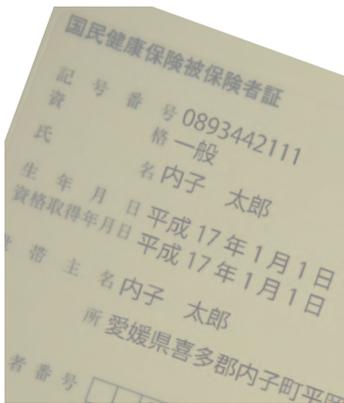
【再質問・一問一答】

問 政府や電力会社が安全基準について世界一厳しい基準だと言っている点について町長はどう受け止めているのか。町長

専門的な視点等々も含めて真剣に議論をされ、一つの方向性を出されたわけで私たちはこのことをちゃんと受け止めないといけないと思う。

問 国保会計における国の新たな支援策について、今後の方向も含めて町長の考えは。町長

きちんとフォローしていくという社会制度設計そのものは大切だと思う。今の内子町の国保会計は赤字である。新しい制度設計を国に求めていく努力をしていかななくてはいけない。



六次産業化の進捗状況・方向性は

泉 浩壽議員



問 林業の町として六次産業化への方向性は。

産業振興課長

林業の活性化を目指し、森林資源を活用した六次産業化の方策を業者に委託して調査を実施している。地域に存在する森林を中心とした様々な資源を活用し、消費者ニーズに対応した商品開発や販路の検討をし、事業を推進していくための母体となる組織のあり方や参画者の整備を行い、本年度中に地域内外の人が地域に根付き新たな産業の創出を図るための計画及び戦略を策定する。



内子座での林業六次産業化の講演会

【自治区と自治会の組織再編について】

問 自治区・自治会の構成世帯数は。

自治・学習課長

4月1日現在で、自治区は151地区、一番少ない自治区は山鳥坂で5戸の9人、多い自治区は西沖の236戸の637人。自治会は41自治会、一番小規模は上田渡の28戸の68人、一番大規模なのが城廻の679戸の1713人である。

問 自治区・自治会の再編及び見直しは。

自治・学習課長

行政改革において、自治区は概ね20戸未満、自治会は50戸未満を再編に向けた取り組み方針を立てたが、強制ではなく自治区・自治会の自主性に任せることで取り組んでいる。

問 自治区・自治会への補助金算出方法は。

自治・学習課長

自治会に固定額30万円と、住民基本台帳に登録されている世帯数に1800円をかけた合計額。自治区には固定額5万円と世帯割1960円をかけた合計額を交付している。

問 自治区・自治会統合すれば補助金はどう変わるのか。

自治・学習課長

現行制度では統合しても固定分30万円ですが、減少となる。

問 教育委員会の考え方は。

自治・学習課長

小規模高齢化集落が、現在40の自治区と9つの自治会が50%を超えており年々増加傾向にあり、今年度は白杵、池田、御祓

の3自治会をモデル的にどんな支援ができるか、どんな取り組みができるか各部署で対応している。このような取り組みを行っているが自治区・自治会が合併、再編が進まない原因はなぜか、地域コミュニティが継続するためにはどうしたらいいのか、関係住民と協議を進めたいと考えている。

町長

町づくりは地域づくりであり、地域づくりがベースであるから、タッグを組んでこれからもしっかりやっていく必要があると思っっている。

【再質問・一問一答】

問 自治会の根幹である地域は一度失ってしまうと復活することは不可能である。町が大きく一つで輝くより、地域、地域が小さくてもキラリと輝き、その小さな輝きが集まってこそ、町の輝きになる町づくりができるのではないか。

町長

そのとおりだと思う。地域が頑張つてこそ町があり、今後も可能な範囲で支援していく。

議会広報常任委員会 研修報告



静岡県長泉町役場

議会広報常任委員会

副委員長 森永 和夫

我々広報常任委員会は7月9日・10日に、全国町村議会議長会主催の「平成27年度町村議会広報クリニック」(全国町村議員会館)と、静岡県長泉町での研修を実施しました。

「町村議会広報クリニック」での研修会には、67町村議会から約400人の議会広報編集委員、議会事務局職員が参加しました。グラフィックデザイナー長岡 光弘氏より、応募のあった6町の広報についてそれぞれ、①住民にわかりやすく情報を訴求するための紙面配置か、②住民に読んでいただくための紙面編集の工夫はされているか、③住民にわかりやすいか、④見やすいか、⑤可読性のある文字組か、この5項目についてページごとにチェックし良い点、改善すべき点を詳しく講評されました。

研修を受け、住民と議員のコミュニケーションが大切であり、住民を紙面・議会にいかに関心を持ってもらえるかを考えた「議会だより」にしな

ければならないと感じました。

翌日、議会広報では43年の歴史を誇り、「クリニック」では数々の受賞歴を持つ長泉町「広報広聴委員会」を訪問しました。ここでは、議長、委員長を始め委員の皆さんとの研修です。まず、「議会ながいずみ」の表紙は子供たちの笑顔です。紙面を見ても、見やすく、わかりやすいものです。また、「まちかどインタビュー」や「わが町たんけんクイズ」など町民の参加、さらに、定例会での質問がまちづくりにどう活かされているのかを追跡した記事が掲載されています。まさに、昨日の研修で学んだことが実践され素晴らしい広報誌です。この広報誌ができるまでには、委員会5回、校正等6回の時間をかけておられるそうです。

今回の研修で得たものを紙面に反映させこれまで以上に町民に親しまれる「うちこ議会だより」を目指します。



議会広報クリニック研修



長泉町広報広聴委員会視察研修

あなたの写真が表紙を飾る！！



◆募集内容◆

テーマ：内子町内の自然・風景
(縦構図)

◆掲載号◆

平成28年2月発行
議会だより vol.16号

◆応募方法※切り◆

JPEG形式で、下記アドレスへメールで応募。
Mail: gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp
締切：平成27年12月28日

万 華 鏡



撮影：菊地 幸雄

獅子舞に町民の幸せを招くと共に、厄病退治や悪魔払いを、川中三島神社より願う。

モニターの声

- ◇ 常任委員会並びに特別委員会の役割について、分かりやすく説明されていました。(70代男性)
- ◇ 議会の仕組みと役割では、わかりやすい図式で理解しやすかった。(30代男性)
- ◇ 議長、副議長が決まり、議会人事も決まった様なので、新たな気持ちで頑張りたいと思います。(70代女性)
- ◇ 一般質問を読んでいると、町の努力で変わるもの、国がからんでいて、どうにもならないものがあると改めて気付きました。(30代女性)
- ◇ 一人の議員が幅広く何項目も質問、そして再質問されていることは良いことだと思います。(70代男性)

編集後記

朝晩冷え込んできましたが、秋晴れの中、各地で運動会、お祭り、文化祭などが開催されるシーズンとなりました。毎回、町民の皆様に、少しでも議会の活動が伝わるような紙面づくりを目指しています。お気づきの点がありましたらご意見をお聞かせください。皆さんと一緒につくる「議会だより」になればと思っています。(森永 和夫)

● 議会広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員長
員	員	員	員	森永	才野	俊夫
山上	山本	菊地	久保	和夫		
芳子	徹	幸雄	美博			

表紙の写真

撮影：森永 和夫
題目：青空に向かって
小田川堤防(左岸)に自生しているコスモスが、さわやかな秋晴れの青い空に向かって咲いていました。秋本番！

発行／内子町議会 発行責任者／内子町議会議長 池田 洋助
編集／議会広報常任委員会 ☎0893(44)2115